

2022年3月18日（金曜）

全労金2022春季生活闘争ニュース・第45号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

全労金2022春季生活闘争の収束にあたって

全労金2022春季生活闘争は、金庫・事業者・関連会社（以下『金庫等』とする）との交渉の結果、回答期限日に、全労金、及び、全単組で交渉が終結しました。単組では、統一闘争を進める観点から、労働組合が把握している課題を要求根拠に示し、組合員のみなさんと認識一致を図ったうえで、要求書提出以降、金庫等と交渉を積み重ねてきました。単組闘争委員会の奮闘に心から敬意を表するとともに、単組闘争委員会とともに闘争した組合員のみなさんに御礼申し上げます。

コロナ禍が継続する中、社会から労金業態が求められている役割の発揮に向けて、すべての労働者・役職員は奮闘してきました。今次闘争では、引き続き、労金業態が社会的役割を発揮するためにも、掲げた要求に対して誠意ある回答を求めました。

交渉概要は、すでにニュース等で共有されている通りです。私たちの要求や主旨を理解し、満額回答や有額回答となった項目もありますが、認識の一致に必要な項目もありました。今後、まとめ議論において、「評価」と「課題」の議論を進めていくこととなりますが、「評価」できる内容は今後も継続し、「課題」は、次年度に持ち越さないため深掘りし、「春季生活闘争による組織強化」につなげていかなければならないと考えます。

昨日、全労金・単組は、労金協会や金庫等から示された回答やメッセージを踏まえ基本合意を表明しました。春季生活闘争は収束しますが、今後も、労使が様々な観点から知恵を出し合い、課題解消に向き合っていくことが必要です。その課題は多岐にわたりますが、私たちの生活の根幹には、「平和で安全に安心して暮らすことができる社会」が必要です。世界ではロシアによるウクライナ侵略が報道され、国内では、東北地方を震源とする地震が発生しました。犠牲者や避難者、被災者のみなさんに向けて、何も行動しないわけにはいきません。今次春季生活闘争での結集力を、支援に向けた行動につなげていきたいと考えますので、全組合員のみなさんのご協力をお願いしメッセージとします。

全労金中央闘争委員会
中央闘争委員長 末留 新吾